

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日	6月 ~4日
カンピロバクター	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	7	25	6	19	11
病原性大腸菌	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	7	51	32	27 (3)	26
腸管出血性大腸菌	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	0	2	0	5	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	6	7	1	6 (1)	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	3	3	2	6	3
腸炎ピブリオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	1
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	0	0	0	2	1
ノロウイルス	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	0	0	1	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。  
その他の1件は、アエロモナスでした。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第22週(5月29日~6月4日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2			2				
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	3	日本紅斑熱	2			2				
		レジオネラ症	1							1
五類	17	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4					2	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1						
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	11	2				9		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hodc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.71人の報告があり、増加が続いています。夏場は、エアコンの使用に伴い窓を閉め切ることが増えてきます。感染予防のため、こまめな換気を心がけましょう。

2 RSウイルス感染症

定点当たり3.25人の報告があり、増加が続いています。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

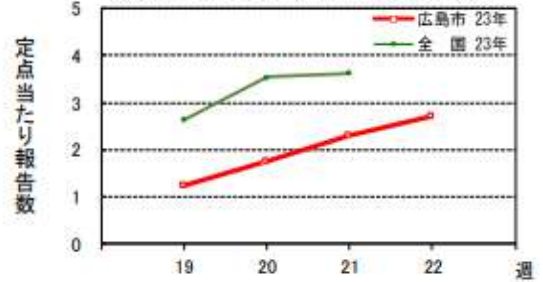
定点当たり3.67人の報告がありました。新型コロナウイルス感染症の流行以降、低い水準が続いていましたが、今年は、3年ぶりに定点当たり1を上回る増加が続いています。

感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

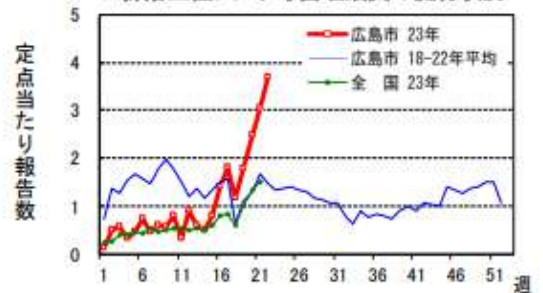
4 ヘルパンギーナ

定点当たり0.71人の報告があり、増加しています。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	71	2.03	0.04	▲	小児科	ヘルパンギーナ	17	0.71	0.43	▲
	新型コロナ(COVID-19)	95	2.71		▲		流行性耳下腺炎	2	0.08	0.10	
小児科	RSウイルス感染症	78	3.25	0.51	▲	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	13	0.54	0.57	▲		流行性角結膜炎	2	0.25	0.25	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	88	3.67	1.45	▲	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	109	4.54	5.59	▲		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	水痘	1	0.04	0.16			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	手足口病	2	0.08	0.76			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11	
	突発性発しん	8	0.33	0.48							

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい □ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	3	80歳代、90歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	3	70歳代
5	梅毒	9	111	20歳代・1人、20歳代・推定感染地域: 国外・1人、30歳代・2人、40歳代・3人、50歳代・推定感染地域: 国外・1人、60歳代・1人